

# しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト 令和6年度実証実験計画

しずおか自動運転  
ShowCASE  
プロジェクト

静岡県交通基盤部



## 1 目的

目的	自動運転等の最新技術を活用した移動サービスの導入による地域交通の課題解決の検証 (運転手不足、過疎地域等高齢者への移動支援、公共交通ICT化等への対応)
	EV等、次世代自動車及び自動運転車両の研究による県内企業の技術開発を促進

## 2 事業概要

### 1 点群座標データの活用

- ・県管理道路1,000km以上の3次元点群座標データのオープンデータ化⇒全国初
- ・ダイナミックマップ基盤(株)と静岡県との協定締結(2017.11)
- ・県有データから高精度3Dマップ化に成功

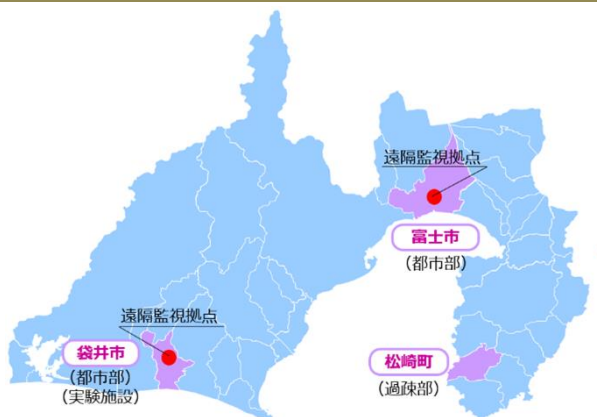


### 2 実験車両(高精度3Dマップ走行)



2018年度使用車両

### 3 令和6年度実証実験地区(公道3箇所)



交通事業者

×

地域(市町・住民)

×

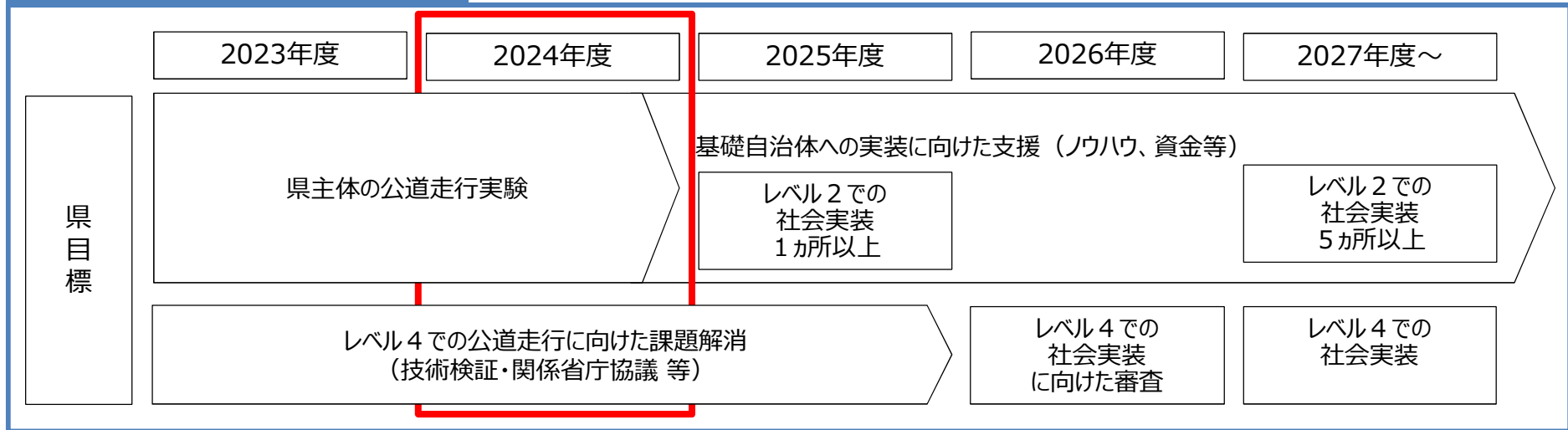
県と参画企業・大学

新たなモビリティサービス  
MaaS  
の検討・導入

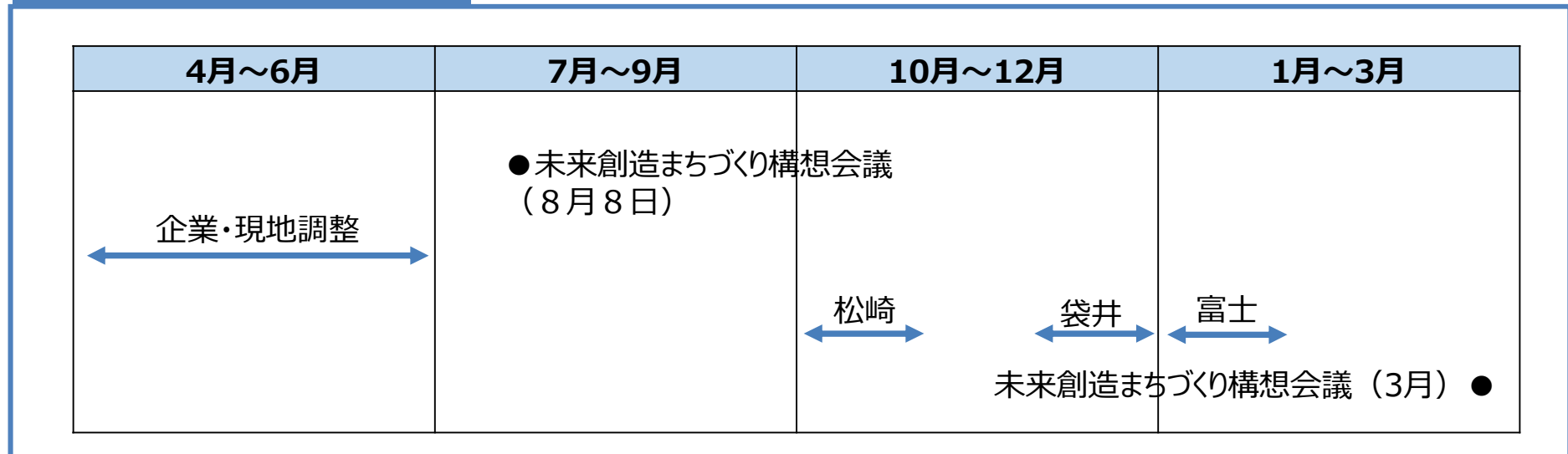
実証実験

# 1-2 事業スケジュール

## 全体スケジュール



## 令和6年度（短期）スケジュール ※破線は各市事業



# 1-3 令和6年度実施体制

未来創造まちづくり構想会議 (H30.10月設置)  
委員長 森川高行 (名古屋大学教授)  
学識委員、国、県 など

意見・評価

ShowCASEプロジェクト推進委員会  
県関係局長  
県警交通部参事官

ShowCASEプロジェクト  
推進委員会 幹事会  
県関係課長  
県警交通部交通企画課長補佐  
交通規制課長補佐

事務局 静岡県

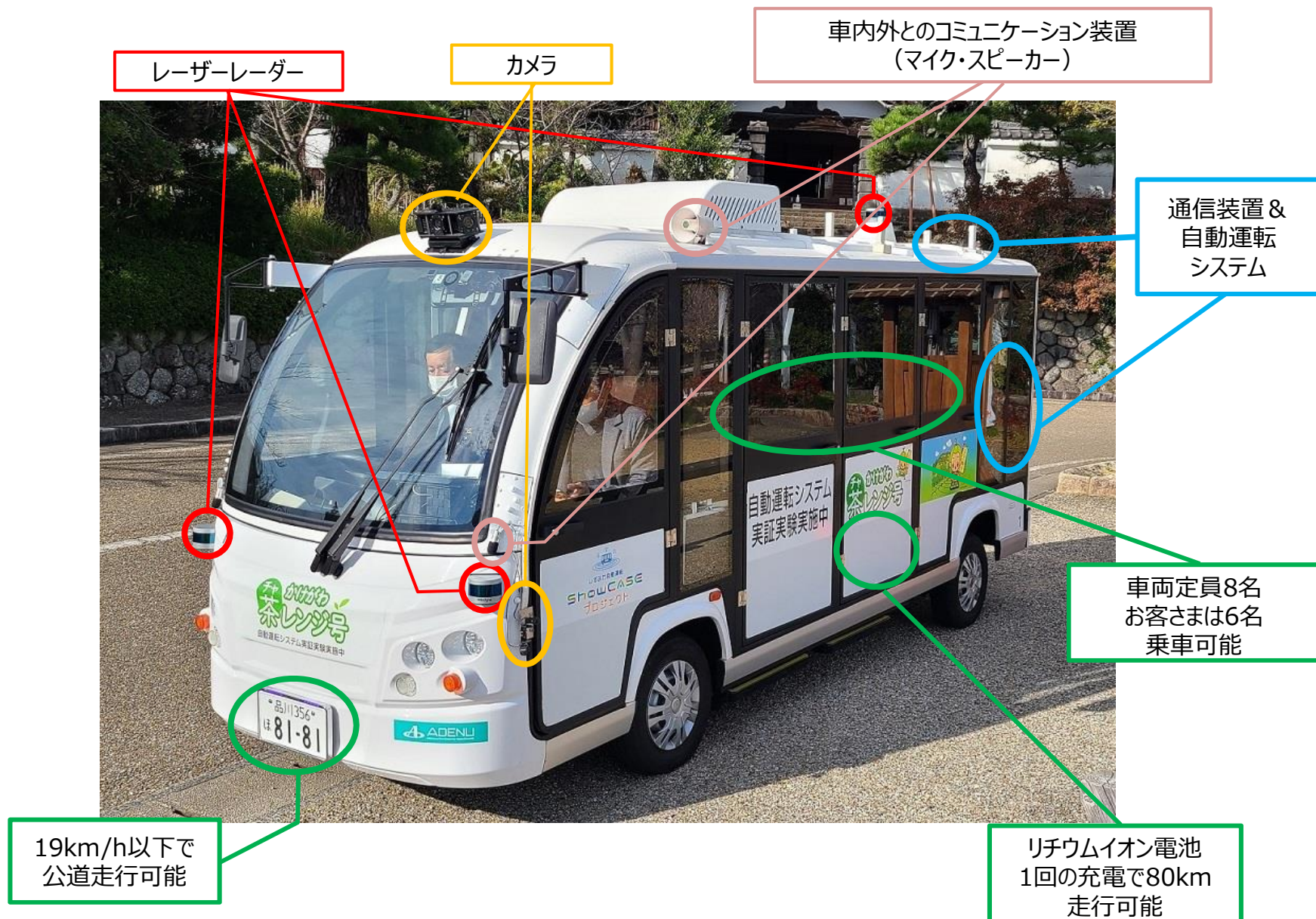
富士：富士市 松崎：松崎町 袋井：袋井市

提携企業・大学一覧  
11社・2大学



実証実験の地元調整や道路運送法による手続きなど

# 1-4 車両の装備と機能





### 中央ディスプレイ

- (1) 各車両のカメラの映像を大画面で表示
- (2) カメラは車両に10台設置されており、死角をなくすよう配置、車内も撮影している
- (3) 自動運転システムの動作状況を確認
- (4) 映像の遅延（タイムラグ）を0.2秒以内に短縮して表示

### 右側ディスプレイ

- (1) 2台の車両に設置したカメラのリアルタイム映像
- (2) 車両の位置情報を地図に表示
- (3) 車両の電波・通信状況

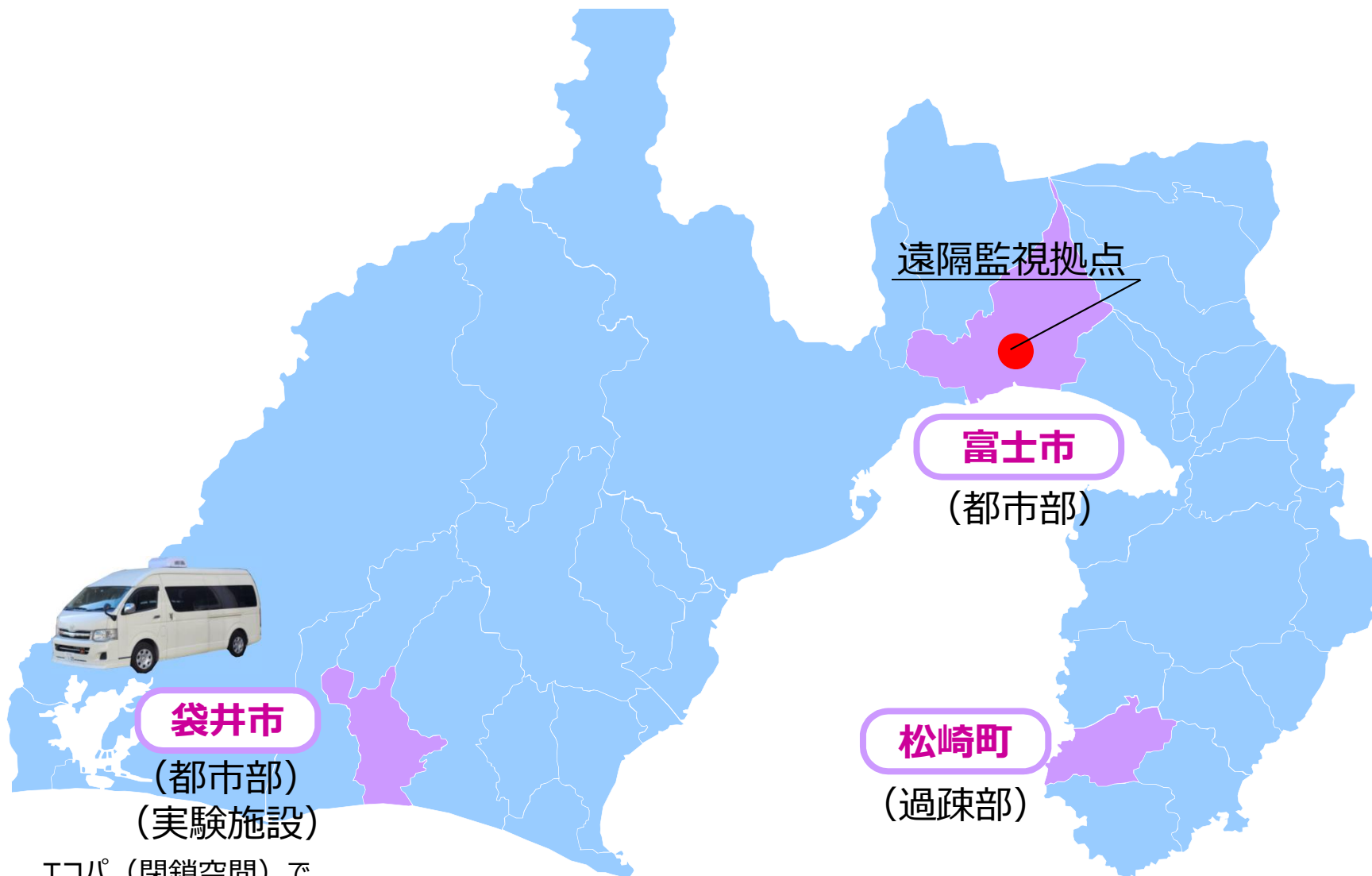
### 左側ディスプレイ

・中央ディスプレイと同じ映像を表示

### 操作パネル

- ・タッチスクリーンで各種の監視を行う
- ・緊急停止ボタンを装備
- ・車内、車外に設置したマイク・スピーカを使い車内外との通話が可能

## 実証テーマ：地域による実装を念頭に入れた自動運転の検証



エコパ（閉鎖空間）で  
ハイエース自動運転車を実証実験

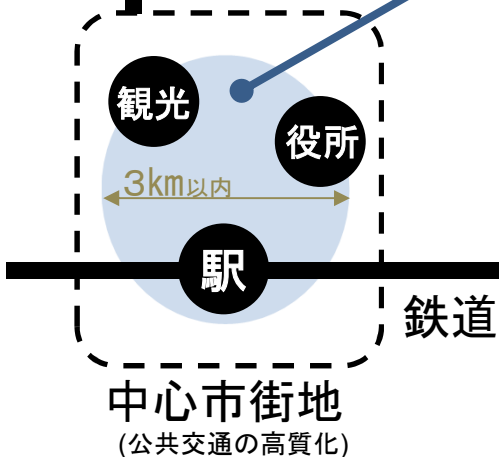
運転支援型

## コンパクト+ネットワーク

まちづくりと  
交通政策+自動運転利用



幹線バス  
タクシー



### 地域内交通(公共交通の空白等)

コースパターン	実証実験	目指す姿
住宅団地等のエリア運行  概ね 2 km 程度範囲 エリア	 技術：Lv2運行(運転手あり) <b>運行：NPO等など(79条運行)</b> 運転：無償：ボランティア 有償：ボランティア 車両：カートタイプ 例)春日井市・四条畷市など	目指す姿  生活支援 共助型生活交通  ×医療 ×介護  ×住宅 ×教育 共創 MaaS

79条運送: 自家用有償旅客運送

賑わい集客型

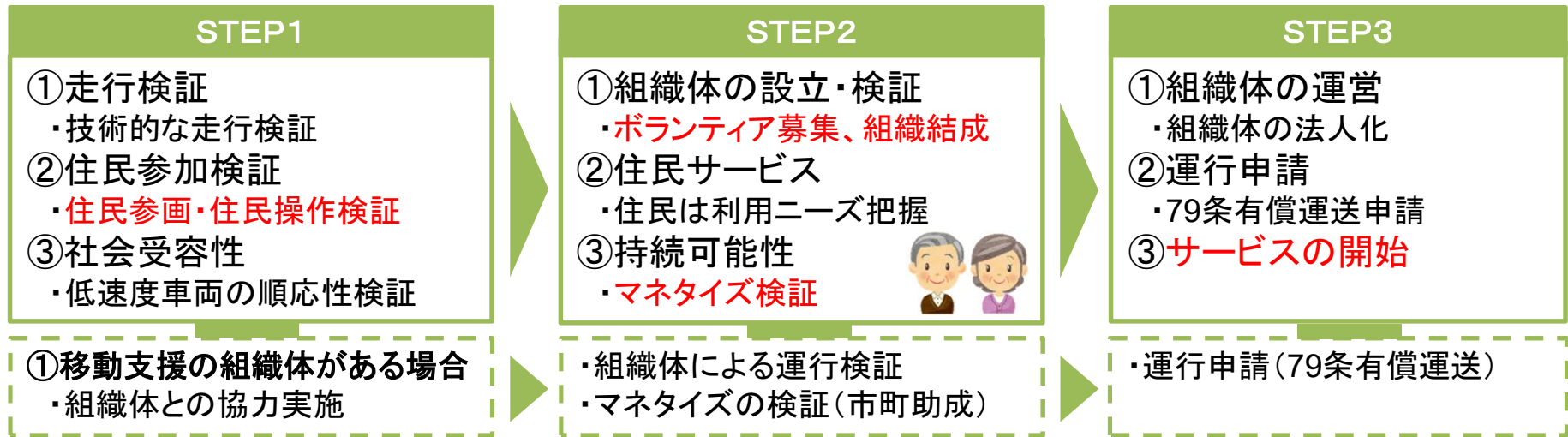
### 中心市街地交通(ウォークアブルなまちづくり)

コースパターン	実証実験	目指す姿
中心地の定時・定路線  概ね 2~3km程度 観光拠点, 役場, 空港etc	 技術：Lv2運行(運転手あり) <b>運行：交通事業者(4条運行)</b> 運転：無償：1種免許：運転手 有償：2種免許：運転手 車両：バスタイプ 例)岐阜市・小松市・境町 前橋市・日進市・柏市など	目指す姿  ウォークアブルな空間  都市の顔となるモビリティ

4条運送: 乗合旅客運送(路線バス)



### 地域内交通(公共交通の空白等)



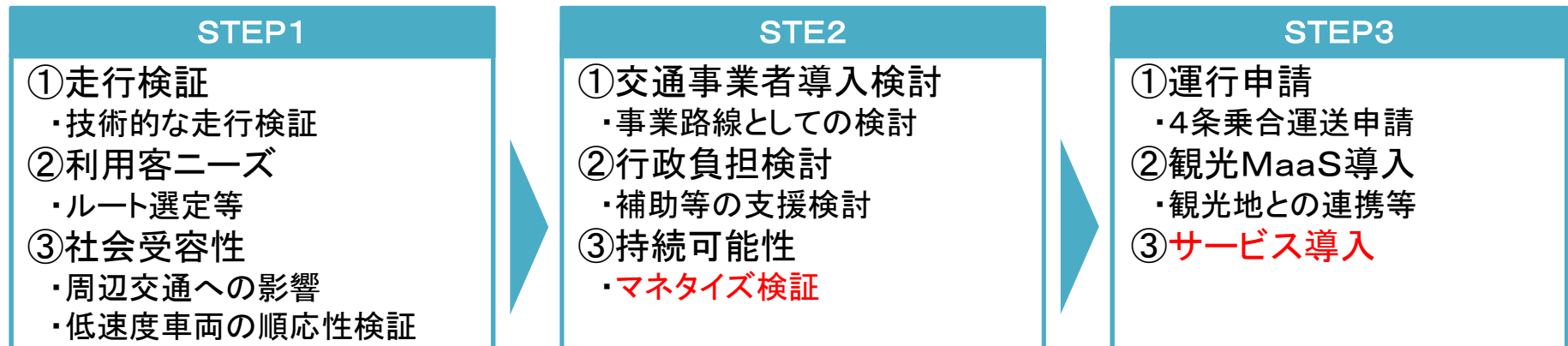
自動運転技術 (安全検証・車両規格・速度・デマンド技術等)

レベル2

レベル3

レベル4

### 中心市街地交通(ウォーカブルなまちづくり)

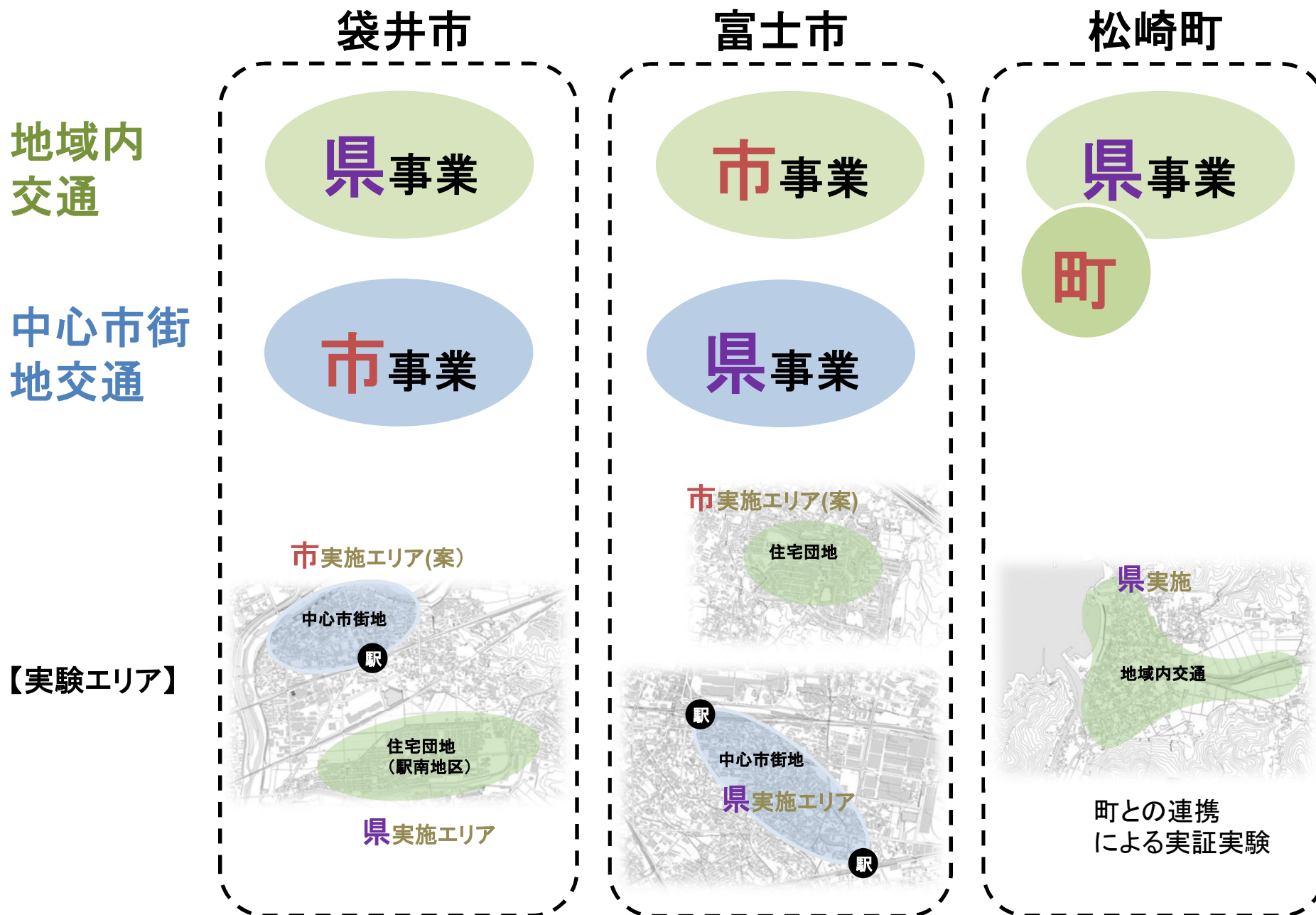


自動運転技術 (安全検証・乗客定員・速度・観光要素・エンタメ要素)

レベル2

レベル3

レベル4



袋井市

富士市

松崎町

地域内  
交通

県事業

市事業

県事業

中心市街地  
交通

市事業

県事業

町

【実験エリア】

市実施エリア(案)

市実施エリア(案)

県実施

中心市街地

住宅団地

地域内交通

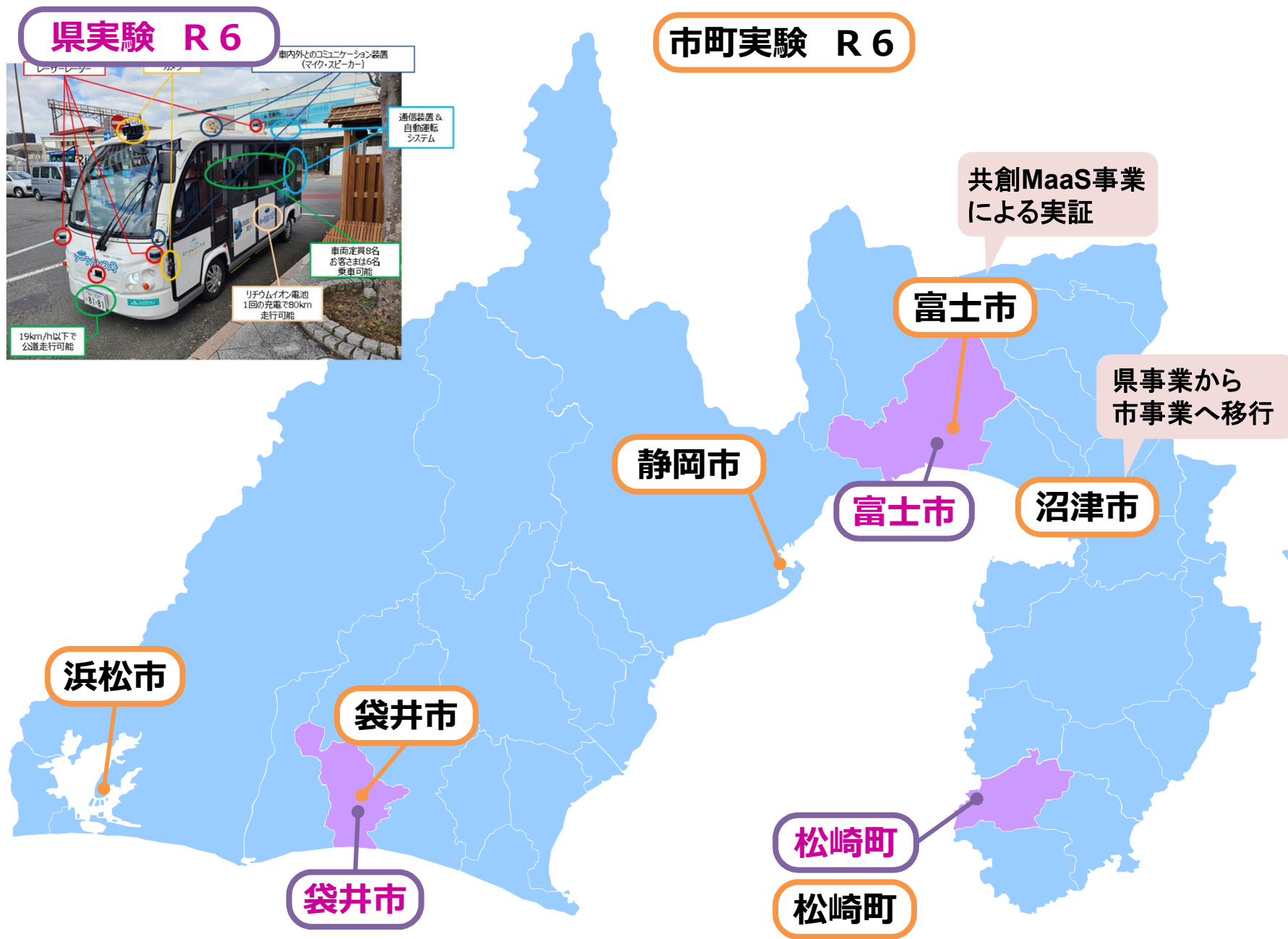
住宅団地  
(駅南地区)

中心市街地

県実施エリア

県実施エリア

町との連携  
による実証実験



今年度の実証実験箇所と自動運転サービスの社会実装に向けて

実験地区	松崎町	富士市	袋井市
ルート	各集落周遊	富士駅－新富士駅	駅南地区 (袋井駅－駅南地区)
実験内容	・レベル4を想定した 走行（レベル2走行）	・レベル4を想定した 走行（レベル2走行） ・複数台同時監視 ・信号連携	・レベル4を想定した 走行（レベル2走行）
遠隔 コントロール センター		富士市役所	
実施時期	10月3日～6日(案)	1月15日～21日(案)	12月2日～8日(案)

### 過疎エリア (各集落周遊)

#### 【特徴】

松崎町は過疎化が進んでおり、交通空白地域が存在し、移動困難の高齢者が多く存在する。そのため、高齢者等の交通弱者に対する移動手段の確保検証をするとともに、過疎地域における新たなライフスタイルの形成をするために、自動走行車両の導入が可能かを検証する。

#### 【実証内容】

- レベル4を想定した走行 (レベル2走行)
- 地元ボランティアによる運転支援
- 狭隘区間を含む運行



出典：静岡県地理情報システム/Maptiles by MIERUNE, under CCBY. DATA by OpenStreetMap contributors, under ODbL

#### 【想定する実装モデル】

- 買い物や通院等のための移動手段確保を目的としたオンデマンドバス
- NPOを主体とした実装を想定

### 市街地エリア (富士駅-新富士駅)

#### 【特徴】

富士市のJR富士駅-新富士駅間は、現在、路線バスの本数が少なく、運転手不足などの課題を抱えている。駅間の連携は、地域住民だけでなく、沿線自治体からの要望もあり、住民生活のみならず、国内外向けの観光、ビジネス等への効果が見込まれると予想されるため、駅間のシームレスな接続の実現を目標に自動走行技術の検証を実施する。

#### 【実証内容】

- レベル4を想定した走行 (レベル2走行)
- 富士市役所からの遠隔監視※
- 複数台同時監視
- 信号連携

#### 【想定する実装モデル】

- 駅間を結び、人流の活性化を目的とした路線バス
- 地元路線バス事業者を主体とした実装を想定





【※複数台同時監視の実施】  
今回の実証実験では、一つのコントロールセンターで、2箇所車両を監視する複数台同時監視を実施する。



### 住宅地エリア (駅南地区)

#### 【特徴】

袋井市の駅南地区は、昭和40年代に開発されたニュータウンだが、現在は高齢化率が高くなっている。立地としては、袋井駅から1 km圏内にあるものの、高齢者等の交通弱者に対する移動手段の確保が困難な状況。そのため、高齢者等の生活に要する買い物や袋井駅までの移動など、新たなライフスタイルを形成するために、自動走行車両の導入が可能かを検証する。

#### 【実証内容】

- レベル4を想定した走行 (レベル2 走行)

#### 【想定する実装モデル】

- 移動手段確保を目的とした地域循環型バス
- 地元組織を主体とした実装を想定



## ★静岡県版レベル4モビリティ・地域コミッティ(案)★

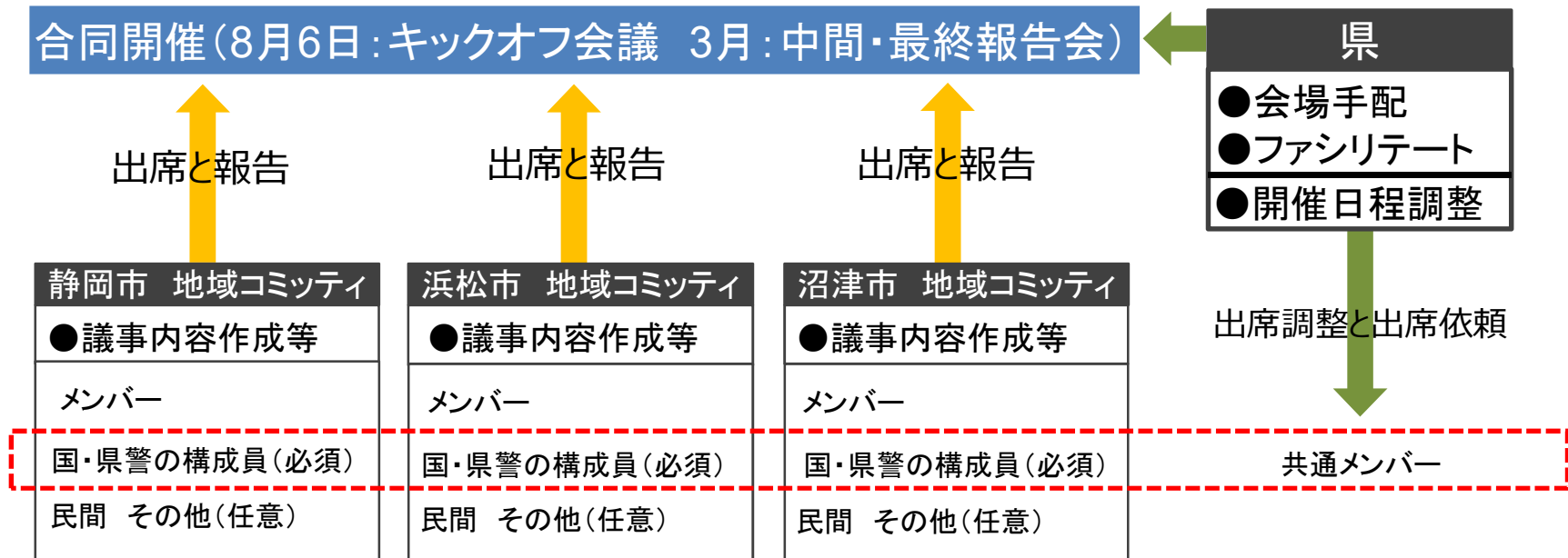
### 【設置目的】

県内自治体・関係行政機関・事業者による**緊密な連携体制を構築**することで、地域の受容性醸成を図りつつ、手続きの透明性・公平性を確保し、**各地のレベル4自動運転サービスの実現**を加速する。

➡県下では、3自治体が設置、情報共有のため可能な限り同日開催

### 【内容】

レベル4許認可取得等に向けた課題とその対策を協議



⇒ 自動運転の実装を検討している市町の情報共有を図る。

